

# 水戸-i

mito-i

所在地：茨城県水戸市

建築用途：専用住宅

主体構造：RC造+木造

建築面積：91.06㎡

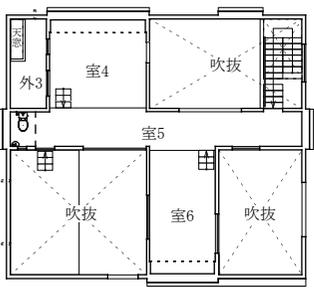
延床面積：144.54㎡

茨城県の郊外に建つ、4人家族の専用住宅。市街地調整区域に位置した敷地周辺には、田畑や雑木林などが残る一方、開発行為や建設も頻繁に行われており、今後の風景は全く見えない状態にある。

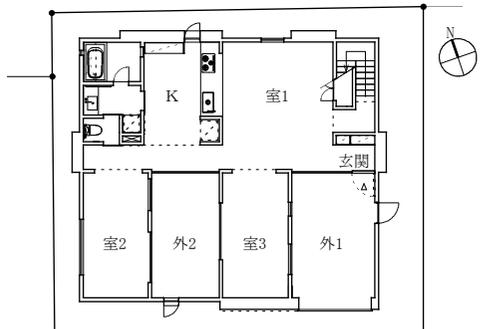
最大の要望である「プライバシー確保」に対し、常にニュートラルで廻りの環境に左右されない、形式を持たないという意味での「透明な箱」を提案した。

土木と建築の間を彷徨い、年齢不詳な古着の様な意匠を与えられたコンクリートの外壁の内部には、つかず離れずの距離を保った木造のボックスが上下左右に置かれ、「気兼ねしない外部」と「視線の通る内部」がブレンドされた開放的な空間を作り上げている。

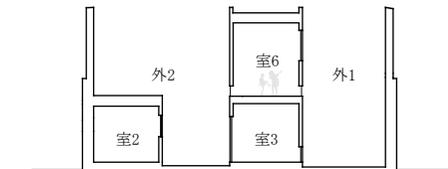




2階平面図



1階平面図 1:300



東西断面図



南北断面図 1:300

上下のボックスは、直接重ねるのではなく、40cmの隙間が与えられ、左右のボックスとの隙間には開けた場所を設けた。それぞれの隙間がある事で、コンクリートの外壁と木造のボックスの関係性を浮かび上がらせ、視線を通すだけではなく、構成を明快にする事で生まれる（住む事への主体性）を引き出す事を目論んでいる。

